

中央会 Chuou kai Aichi

あいち



あいち百景



国宝 犬山城

Contents

VOICE

中央会ニュースクリップ
中小企業・組合フォーカス
内田俊宏の経済トレンド
景況天気図
インフォメーション

愛知県中小企業団体中央会

<http://www.aiweb.or.jp>

商工中金は、国とともに、
中小企業をサポートする公的金融機関です。



特長
その **1** 長期的な視点で
安定したお取引

特長
その **2** 中小企業の経営課題に対応する
総合的な支援

特長
その **3** 全国と海外のネットワークで
ビジネスをサポート

特長
その **4** 協調と連携で
地域経済の活性化の力に

名古屋支店 052(951)7581

〒460-0003 名古屋市中区錦3-23-18

● 地下鉄栄駅8番出口より徒歩1分

熱田支店 052(682)3111

〒456-0018 名古屋市長久区新尾頭2-2-33

● 車で便利な熱田NTTタワー前

豊橋支店 0532(52)0221

〒440-0897 豊橋市松葉町3-71-2

● 豊橋商工会議所東100m

個人のお客さま向けの定期預金です。

高めの金利設定(当金庫内比較)

固定金利の半年複利(元本保証)

1年、2年、3年から期間が選べる

∥ 安心、確実、お得に増やす ∥

定期預金

マイハーベスト

企業の人事担当者の皆様へ

人材の確保・従業員の再就職を 支援しています



公益財団法人 産業雇用安定センター
愛知事務所

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号 住友生命名古屋ビル4階

TEL: 052(583)8876 FAX: 052(583)8886



インターネットにより最新の人材情報を提供しています。

厚生労働省と経済・産業団体の協力により設立された公益財団法人

産業雇用

検索

www.aichi-now.jp

国宝犬山城

愛知の
旬の情報は、
「Aichi Now」で
チェック!



愛知の公式観光ガイド

Aichi Now
OFFICIAL SITE FOR TOURISM AICHI

香嵐溪のカタクリの花は、飯盛山の北西向き斜面に
群生地があります。カタクリの花は、
花が咲くまでに7~8年かかる
といわれており、香嵐溪では
昔から自生していたものを
保護・育成した結果、
現在の大きさに
なりました。

カタクリ群生:豊田市
3月中旬~4月上旬

香嵐溪のカタクリの花

平成30年度を振り返って

会員の皆様方におかれましては、平素より本会の事業に格別のご協力・ご高配を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

平成30年度を振り返りますと、個人消費、設備投資、雇用や所得環境での改善がみられ、景気は緩やかな回復基調とは言うものの、中小企業におきましては、原材料費の高騰、深刻な人手不足、通商問題、相次ぐ自然災害等により、景気回復を実感するには至らず、厳しい経営環境が続きました。

本会では、会員組合が抱える諸問題の把握に努め、課題解決のための事業に取り組んで参りました。

本年度は、地域経済の中核を担う中小・小規模事業者と会員組合に対して、きめ細かな巡回指導と相談業務を一層徹底し、昨年度を上回る巡回指導件数、相談件数実績となっております。

新規事業としては、新たに組合役員や事務局専従者になられた方を対象に、組合機能や組織運営、共同事業運営等をご説明する「組合事務初任者講習会」を開催いたしました。大変多くのお申込みをいただき、感謝しております。

他にも、昨年度より実施しております「組合交

流会」を、名古屋地区だけでなく、大規模な交流会は19年ぶ

りとなる東三河地区でも開催し、業種や地域の垣根を越えた交流が

できたこと、それぞれの地区でのご好評をいただきました。また、適切な中小企業施策の実現を目指すために昨年度より開催しております「労働問題研究会」に加えて、本年度は「金融問題研究会」も開催いたしました。

消費税転嫁・軽減税率対策支援や外国人技能実習制度を活用する組合に対する事業運営の適正化支援、国の「ものづくり補助金事業」の地域事務局として設備投資や試作開発を行う中小企業者への支援等の従来より実施している事業につきましても、さらなる改善を図り、積極的に推進して参りました。

今後とも、会員の皆様方に寄り添う中央会、中小企業の応援団として職員一同、精一杯ご支援に努めてまいりますので、来年度も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



一年間どうもありがとうございました



来年度もどうぞよろしく

お願いいたします

職員一同

組合事務主任者研修会を開催しました

3月4日（月）、愛知県産業労働センター（名古屋市中村区）において、組合事務主任者研修会を開催しました。本年度は（株）日刊工業新聞社 執行役員 名古屋支社長の嶋崎 直氏を講師としてお招きして「読まれる広報誌をつくるには」をテーマにご講演いただきました。文章の書き方のコツや写真の撮り方など、実例を交えながらお話しいただき、参加者からは「とてもわかりやすかった」「プロのアドバイスがもらえてよかった」と大変好評でした。

後半はグループに分かれ、参加者同士、それぞれの広報誌を見ながら意見交換会を実施しました。普段苦労していること等について共有し、講師の嶋崎氏にアドバイスを求めるなど、日頃の悩みを解消していただける機会となりました。

当日は本誌編集担当者も参加し、貴重なお話を聴かせて頂きましたので、今後、本研修会で学んだことを活かし、「中央会あいち」を会員、関係機関等の皆様に読んでもらえるような機関誌にしていきたいと思っております。



労働問題研究会（第2回）を開催しました

3月5日（火）、愛知県産業労働センター（名古屋市中村区）において、労働問題研究会（第2回）を開催しました。今回は「女性の活躍推進」をテーマに取り上げ、異なる業種の会員組合理事長等12名が参加しました。

愛知労働局雇用環境・均等部指導課 雇用環境改善・均等推進指導官 杉浦アキコ氏より「働き方改革における女性の活躍」として、制度の概要や女性活躍・両立支援の事例等をご説明いただいた後、女性の雇用状況や採用・復職、管理職登用等について、参加者が意見を交しました。

参加者からは、若手から高齢者まで様々な年代の女性が、製造や建設の現場も含めた種々の部門で活躍していることが述べられる一方で、重量物の取り扱い等における体力の厳しさ、子育て・介護を理由とした離職の多さ等の課題もあげられました。人手不足打開を目指す中、「男性」「女性」と意識せずに採用している、より積極的に取り組むためにも保育施設の充実や環境整備への助成を求める等、発言いただき、活気に満ちた研究会となりました。



新規事業

組合事務初任者研修会を開催しました

3月8日（金）、13日（水）の2日間にわたり、愛知県中央会会議室において、本年度新規事業となる組合事務初任者研修会を開催しました。本研修会では、組合の事務経験が1年程度の方を対象に、本会職員が講師となり、「協同組合とは？」「中央会とは？」「組合事務処理の注意点について」等、組合の運営に関する基本的な内容について説明を行いました。

当初2回の開催を予定しておりましたが、新規事業にもかかわらず多数のお申し込みをいただいたため、急ぎよ2回追加し、合計で4回開催いたしました。

ご参加いただいた皆様からも大変好評で、「大変勉強になりました」「いろいろと整理できていなかったのが、ホッとしました」等の声が聞かれました。

今後も、会員の皆様のニーズにお応えできるような研修会等を開催していきますので、「こういう研修会をやってほしい！」というものがありましたら、ぜひ、担当職員にお話しいただければと思います。



内定者研修会を開催しました

2月12日(火)「就職準備応援セミナー(内定者合同研修)」を愛知県産業労働センター(名古屋市中村区)において開催し、県内企業等の内定者29名が参加しました。前回の1月開催時と同様で、研修会は2部構成で実施し、第1部では愛知労働局労働基準部監督課 労働時間管理適正化指導員 戸崎剛直氏より「知っておきたい働く時の基礎知識」と題し、労働基準関係法令について説明が行われました。第2部では産業カウンセラーの加藤久恵氏を講師にお迎えし、「社会人デビューの前に！入社までにマナーの基礎を身につけよう！」をテーマに、あいさつのポイントや電話応対、名刺交換等、これから社会人となる際に必要なビジネスマナーについて学びました。今回はスクール形式での開催となりましたが、前回と同様に、多くの参加者の皆さんに満足していただける内容となりました。



働きやすい環境づくりを実現する 健康経営セミナー を開催しました

2月14日(木)、TKP名駅桜通口カンファレンスセンター(名古屋市中村区)において、「働きやすい環境づくりを実現する 健康経営セミナー」を開催し、組合関係者等約30名が参加しました。

少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少や育児や介護との両立といった働き方のニーズの多様化等に直面する昨今、従業員の健康保持・増進に取り組むことは、従業員の活力向上や生産性向上等の組織の活性化をもたらす、結果的に業績向上や株価向上につながることを期待されます。こうした健康管理を経営視点から考えた戦略的な「健康経営」について、MS&ADインターリスク総研(株)健康・医療サービス開発室 マネージャー上席コンサルタント 對間裕之氏を講師にお招きし、「健康経営」の意義、中小企業における具体的な導入事例や効果等をご説明いただきました。

途中、慢性的な肩こりは業務への集中を妨げ生産性を約4%低下させることが紹介され、肩こり予防体操を実践する場面もあり、参加者は楽しみながら学んでいました。



新連携地域交流会(ものづくり補助金情報交換会)を開催しました

2月20日(水)、愛知県産業労働センター(名古屋市中村区)において、新連携地域交流会(ものづくり補助金情報交換会)を開催し、ものづくり補助金に採択された中小企業者等約60名が参加しました。

本会では、事業分野の異なる複数の中小企業者の連携による新たな事業の開拓(新連携)を支援しています。その一環として、今回は、本会が地域事務局を務めるものづくり補助金の採択事業者を対象に、新たなビジネス創出を視野にいたれた異業種交流の場をご用意させていただきました。

はじめに、新たなビジネスやマッチングのヒントとなるよう、ものづくり補助金フォローアップ事業の専門家派遣の活用、大学研究機関との連携、「新連携」支援の3つの事例を紹介した後、交流会に移りました。

会場では、参加者が自社の取組みを紹介しながら情報交換を行う姿がいたるところで見られ、交流会は盛況のうちに幕を閉じました。



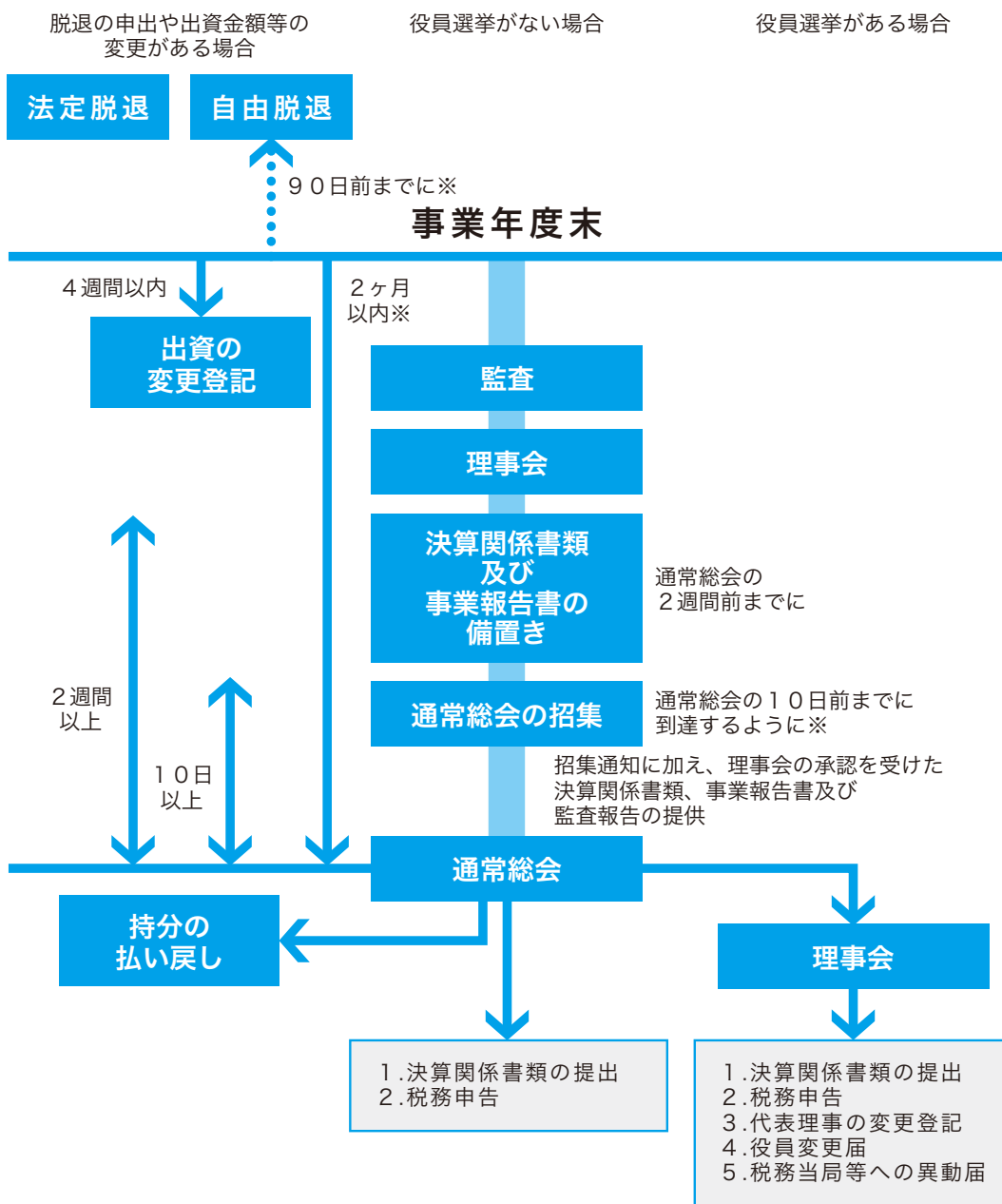
組合決算期の諸手続きについて

3月末に決算を迎える組合も多いことと思います。そこで、事業協同組合の総会（又は総代会）までの手続の流れをまとめました。

また、総会開催前後の事務手続きについて、チェックリストを同封いたしましたので、あわせてご活用ください。

なお、決算関係書類及び役員変更届の提出については、3月末に別途資料を郵送いたしますので、ご確認ください。

通常総会前後の諸手続き



※定款の定めにより異なる場合があります

- 本会ホームページにも様式例を掲載しております。ご参照ください。
- ご不明な点等ございましたら、本会各担当者までご相談ください。

内田俊宏の 経済トレンド

「全人代」にみる中国経済

中京大学 経済学部 客員教授 内田 俊宏



中国経済は昨秋以降、急減速

中国の国会に当たる全人代が3月5日に開幕したが、冒頭から現在の厳しい中国経済を象徴する数字が発表されている。中国政府は、2019年の実質GDP成長率の目標値を従来の「プラス6.5%前後」から「プラス6.0〜6.5%」へと下方修正した。2018年の中国の実質GDP成長率はプラス6.6%と政府目標のプラス6.5%前後を小幅に上回ったが、水準としては、天安門事件の後に経済が低迷した90年以來28年ぶりの低水準となっている。昨年の日本のプラス0.7%と比べると、かなり高く見えるが、中国は前年から0.2ポイント縮小しており、2年ぶりの減速となった。中国経済にとっては、日本のゼロ成長に近い感覚の急減速と言えるだろう。

特に、米中貿易戦争が激化した昨秋以降の失速が顕著となっている。直近の18年10〜12月期の成長率はプラス6.4%まで減速しており、前期の7〜9月期より0.1ポイント縮小し、3期連続の減速となっている。米中間では、18年7〜9月期に追加関税の影響が最大25%もの高関税が掛けられた影響が大きい。直接的には対米輸出の落ち込みが大きく、外需の減速は今後も続くことが予想される。全人代にお

ける今年の成長率目標の引き下げは、直近の18年10〜12月期の伸び率をさらに下回って減速することを意味しており、特に今年前半の中国経済の落ち込みは堅調になることが懸念される。

外需から内需へと悪影響が波及

当初、対米輸出を中心に外需への影響が大きかったが、徐々に内需への悪影響も出始めている。中国の消費統計として重視される社会消費品小売総額統計は、百貨店やスーパー、ネット通販の売上高を合計した統計だが、昨年一年間は前年比プラス9%と前年の10.2増の二桁プラスから一桁に落ち込んでいる。スマホや自動車販売が落ち込んだ影響が大きく、一桁プラスは03年以來15年ぶりとなる。特に18年12月の前年比はプラス8.2%と秋以降の失速が顕著である。

モノが売れなくなれば、必然的に工場の生産活動も停滞する。昨年の中国の工業生産は、プラス6.2%と前年の6.6%増から低下しているが、特に12月の前年比はプラス5.7%まで低下している。こうした動きに連動して、名古屋税関管内の対中輸出に異変が見られ始めた。中国の工場での生産活動の先行指標と

なる中部からの工作機械輸出が急減している。昨年12月に2割減まで落ち込んだ中国向けの金属工作機械輸出は、今年1月にはマイナス52.7%と前年比で半減以下の水準まで急減している。少なくとも前半の生産活動の活発化は見込めない状況だろう。

全人代で打ち出された経済政策

こうした中、開催された全人代では、経済成長率の目標を6%台前半に引き上げた上、大規模な景気対策として日本円で約33兆円規模の大型減税の実施を打ち出した。さらに社会保険料の引き下げの実施も示し、経済成長率の6%割れを何としてでも回避したい方針を明確にした。軍備増強のための国防費も、成長率の伸びを上回る水準のプラス7.5%まで増額するが、国防費への支出もGDPを押し上げるほか、生活水準への不満から中国各地で発生しているデモへの対応もある。

中国では6%を割り込む景気減速は、社会全体の不安定要素にもなりかねない。今回、全人代で打ち出された経済政策によつて、是が非でも6%台前半の成長率目標は達成するだろうが、米中貿易戦争の影響が急速に顕在化する前半の失速は免れないだろう。一方で、大規模な減税や中国人民銀行による金融緩和の効果は年後半に顕在化すると予想され、内需中心の景気再加速まで少し時間を要するだろう。名古屋税関管内からの輸出は、年間を通じて中国向け輸出には期待できない状況が続く公算が高い。

Profile

1968年青森県生まれ。91年一橋大学経済学部卒業。02年名古屋大学大学院経済学研究科博士前期課程修了。91年野村證券。93年東海総合研究所(現三菱UFJリサーチ&コンサルティング)。15年4月中京大学経済学部客員教授。現在、テレビやラジオのニュース番組などのコメンテーターを務めるほか、国土交通省中部地方整備局、愛知県、名古屋港管理組合、青森県などの委員も務める。専門はマクロ経済、地域経済。

この情報は、中央会傘下の県下主要業界組合に配置した112名の情報連絡員から寄せられた各業界の景況報告を集計したものです。情報連絡員は全国に約3,000名配置され、全国集計も行われています。

【2019年1月分】

景況天気図（対前年同月比）

凡例	好転 +30 ≤ DI	やや好転 +10 ≤ DI < +30	変わらず -10 ≤ DI < +10	やや悪化 -30 ≤ DI < -10	悪化 DI ≤ -30

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	操業度	雇用人員	景況
製造業									
非製造業									

●●● 業界レポート ●●●

【製造業】

食料品：昨年12月末より小麦粉が値上げされ、同時に製麺大手4社の値上げ発表があった。小売に対し確実に値上げできるかどうかは今後の業界の景況がかかってくると思われる。

電気機器：各社とも忙しい状況。人手不足から受注しない、もしくは受注を断るため、長期的には価格が上昇するのではないかと。

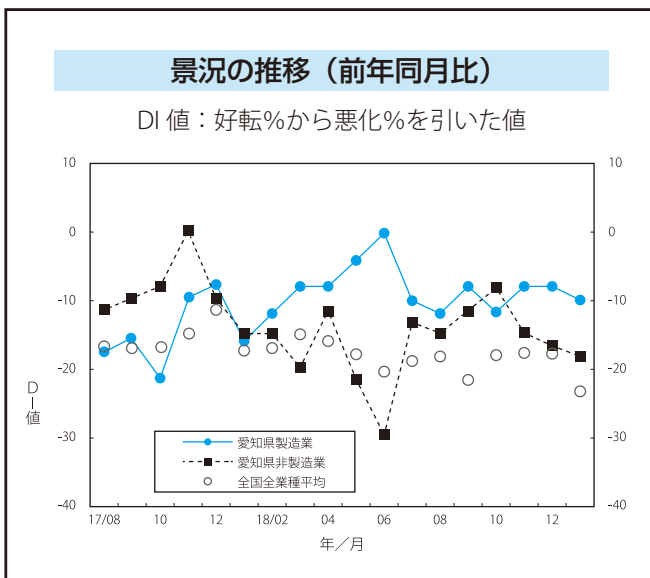
輸送機器：特に工作機械業界（金融加工機械部品製造）は非常に好調。IT関連（電力制御装置等製造）の設備投資が旺盛。人手不足感により現場作業が遅れ、生産計画通りにいかない。

【非製造業】

小売業：年始に多くの来店があったが、月間トータルでは売上、客数とも前年を下回った。

サービス業（旅館）：宿泊しての忘新年会は減少している。

運輸業：入社から6か月の職員が退職した。忙しすぎが理由だが、人手が足りず最初から仕事を任せすぎ失敗した。求人をかけても次の応募者がなかなか来てくれない。



●●● 業界レポート（全国） ●●●

【製造業】

食料品（岐阜県）：豚コレラの発生に伴い、県内産豚肉の供給が不安定になっている。また風評による販売減少も見られる。

電気機器（富山県）：車の環境対応や先進運転支援システムの普及により、電子部品搭載員数の増加は継続。スマホは高機能製品の市場投入や5Gの導入に伴い、引き続き好調をキープする見通し。

輸送機器（神奈川県）：日本の造船業は中韓の政府主導による新造船発注支援や再編で今後も市場は厳しい状況が継続すると見られる。中韓と互角のコスト競争力を獲得することが至上命題。

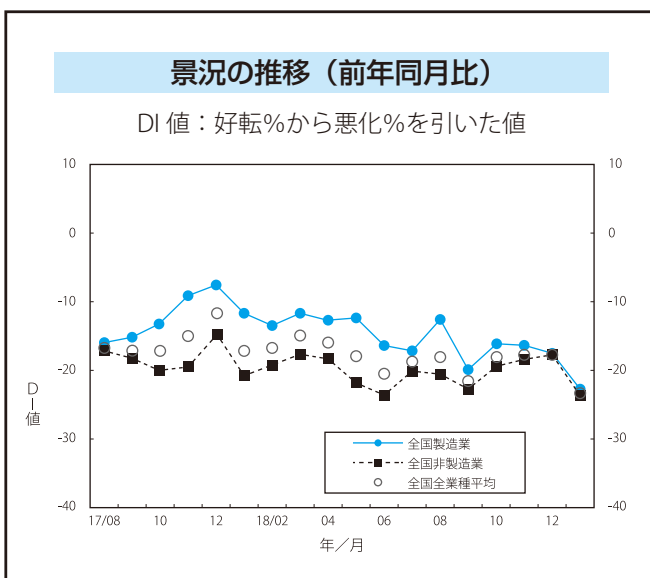
【非製造業】

小売業（滋賀県）：年始休みが短く暖冬で客数が伸びなかった。特に防寒衣料中心に冬物が伸び悩み、昨対売上高は97%となった。

サービス業（旅館・高知県）：年末年始のカレンダー並びが良く、観光客が偏らない動向だったため、ほどよい繁忙感があった。後半はインフルエンザ警報が出たことで社内の欠員やキャンセルも多く、若干目標値を下げた。

運輸業（京都府）：年始以降の天候が落ち着いていることもタクシー需要を抑える要因だが、人が出ていない印象が非常に強い。コールセンターへの受注そのものが激減している。

（出典：全国中小企業団体中央会 HP より）

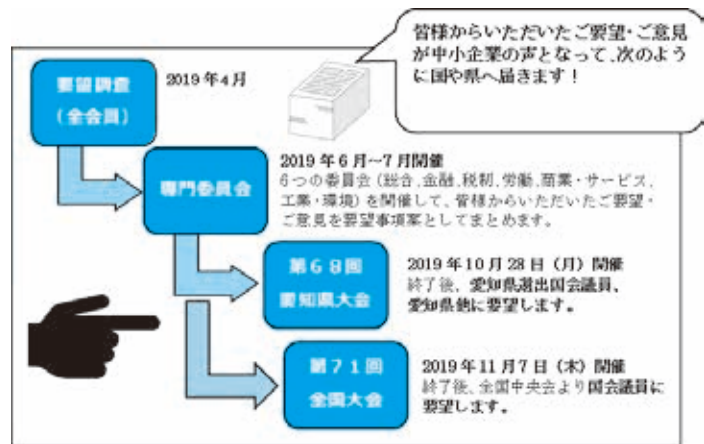


おしらせ

平成31年度中小企業施策に関する要望・意見調査のお願い

本会では、国及び愛知県に対しまして、県下の中小企業が抱える問題点と要望を調査し、取りまとめて、中小企業団体愛知県大会並びに全国大会にて、中小企業対策に関する要望事項として要望させていただいております。

つきましては、4月上旬に「調査票」を郵送いたしますので、貴組合及び組合員企業並びに業界が当面する諸問題がございましたら、是非、ご要望、ご意見をお聞かせください。



イベントカレンダー

中央会	日	時間	イベント名	場所
	3月26日(火)	14:00	年度末講習会	ウインクあいち

組合	日	イベント名	組合名	場所
	4月20日(土)～21日(日)	第22回 団吉くんまつり	岡崎石工団地(協)	岡崎石工団地

イベントレポート

16th Japan Yarn Fair & 総合展「THE 尾州」



2月20日(水)～2月22日(金)にかけて(公財)一宮地場産業ファッションデザインセンター主催による「16th Japan Yarn Fair & 総合展「THE 尾州」」が開催されました。繊維商社や紡績メーカーなど多くの企業と団体が出展。会場内では、自社の強みを活かした高付加価値の糸を提案し、各ブースでは活発な商談が行われていました。他にも、世界三大毛織産地のひとつと称される「尾州のものづくり」の魅力を伝えるため、尾州産地の素材や衣装、学生の作品等が展示されていました。特に、優秀作品のファッションショーでは、洗練されたデザインが披露され、多くの来場者を魅了していました。

第21回中馬のおひなさん in 足助

2月9日(土)～3月10日(日)にかけて「第21回中馬のおひなさん in 足助」が開催されました。

この催しは、中馬街道の「塩の道」として栄えた足助町の町並みと香嵐渓の約130軒の店内や軒先で、江戸時代から現代までのたくさんの「おひなさん」が華やかに飾られ、足助の街に春を呼ぶ催しとして楽しまれています。期間中は、スタンプラリーも開催され、春の陽気のなか五平餅や和菓子などを買い求めたりする姿が見られるなど、たくさんの人で賑わいました。



あいち女性中央会 伊勢神宮参拝

2月14日（木）、あいち女性中央会では毎年恒例となっている伊勢神宮参拝ツアーを開催し、女性経営者等11名が参加しました。

当日は晴天に恵まれ、瀧原宮、瀧原竝宮から、外宮、内宮、猿田彦神社とまわり、外宮、内宮では御垣内（より神様に近いところ）にて、参拝を行いました。内宮での参拝では、ピリッとした空気の中、参加者は代表参拝の大場会長に合わせて二拝二拍手一拝を行い、清々しい気持ちとなりました。

参拝後、おかげ横丁で昼食をとり、その後はお善哉やコロケを食べたり、お土産を買ったりして楽しみました。

新たな年の始まりを、神聖な空気に包まれる中、ゆったりと一日を過ごしました。



情報連絡員会議（第2回）を開催しました

2月19日（火）、TKP名古屋駅前カンファレンスセンター（名古屋市中村区）において、第2回情報連絡員会議を開催し、情報連絡員62名が参加しました。

情報連絡員の景況報告として、愛知県鍍金（工）事務局長 長谷川秋夫氏に発表いただいた後、事務局より、平成30年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金について説明いたしました。

続いての研修会では、『職場におけるハラスメント防止対策』をテーマに、三井住友海上火災保険（株）営業推進部法人開発室 課長 早川一郎氏にご講演いただき、パワーハラスメントやセクシャルハラスメント等の言動チェックや職場の環境整備の他、すぐに役立つ部下とのコミュニケーション事例をご紹介いただきました。

（協）名古屋エルピーガス保安センター 理事長 長谷川勇一郎氏の乾杯で始まった交流懇親会では、参加者は和やかに親睦を深めました。



愛知県中小企業青年中央会 青年部交流会を開催しました

3月2日（土）、アパホテル名古屋錦（名古屋市中区）において、愛知県中小企業青年中央会は「平成30年度青年部交流会」を開催し、49名の青年経営者等の方々にご参加いただきました。交流会は第1部研修会、第2部交流懇親会の2部構成としており、研修会では「今さら聞けない!? ビジネスマナーの基礎基本」をテーマに、接遇や名刺交換など基本的なビジネスマナーについて実践を交えながら、三井住友海上火災保険（株）営業推進部法人開発室 課長 早川一郎氏より、ご講演いただきました。研修会は、「基本的なビジネスマナーについて、より深く理解できました。」「慶弔、クレームについて知ることができ、勉強になった。」等の声が聞かれ、大変好評でした。

引き続き、会場を移して開催された第2部の交流懇親会では、第1部の研修内で名刺交換を行ったこともあり、懇親会中も活発に交流が行われ、盛会のうちに終了しました。



三井生命では各組合の皆様へ各種セミナーを実施しております(無料)

◆セミナーコンテンツ例

- ・事業承継（生命保険を活用した事業承継対策）
- ・公的年金とライフプラン
- ・知っておきたい賢い生命保険の活用法
- ・公的介護保険制度を知ろう など

2017年度は上記のセミナーを26協同組合にて実施させて頂きました。
多くの経営者より個別に相談も頂いております。お気軽にご相談ください。

※セミナー実施についてのご照会先は

名古屋市中区錦1-4-6 三井生命保険株式会社 名古屋支社 TEL 052-231-3852

B-2018-5625(2019.2) 使用期限 2019.3.31



ALL for ALL. ひとつひとつの、夢によりそう。 **BESTパートナー**
三井生命

2019年4月1日より、三井生命保険株式会社は 大樹^{たいじゅ}生命保険株式会社に社名変更*を行います。

“大樹”のように、しっかりと大地に根を張り、
お客さまを守り、よりそっていくという想いを込めて、『大樹生命』と命名いたしました。

皆さまの変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう、宜しく申し上げます。

三井生命保険株式会社 <https://www.mitsui-seimei.co.jp/>

※関係当局の認可等を前提

愛知県パン協同組合

理事長 長谷川 正 己

副理事長 光 田 充

副理事長 中 島 政 志

〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目20番29号

TEL 〈052〉962-6371

FAX 〈052〉962-6377

名古屋中央市場水産物協同組合

理事長 浅 岡 哲 也

〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目11番3号

中央水産ビル

TEL 〈052〉583-3811 FAX 〈052〉561-0792

※広告内容に関する責任は、広告主に帰属します。

※2019年度に発行する「中央会あいち」に掲載する広告を募集しています。

お問合せ：労働企画部 TEL:052-485-6811

がんばる企業の ベストパートナー

経営者だからこそ万が一に備えて
経営者医療共済

ケガの補償は安心補償
傷害共済

ケガも病気もサポート
生命傷害共済

思わぬ「もしも」に備えて
弔慰金共済

従業員のケガや病気に
従業員医療共済

従業員の「もしも」に備えて
従業員弔慰金共済



6つの安心で
企業の経営をサポート!



 **中小企業共済**
愛知県中小企業共済協同組合

 **0120-00-9967**
受付時間 平日9:00~17:00

本部
〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-4-38 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)16階
TEL(052)587-2223(代)

三河支局
〒444-0860 岡崎市明大寺本町1-34 岡崎センタービル8階
TEL(0564)22-0191(代)

資料請求はこちら▶<http://www.ack-kyosai.or.jp>

愛知県中小企業共済協同組合
オリジナルキャラクター
キョウサイ天使's
テンジース

QRコードから
ご覧頂けます▶



愛知県中小企業共済



印刷所 栄 株式会社
定価 1部300円(年間3,600円但し会員に
ついては賦課金を含めて徴収)

中央会あいち 毎月20日発行
平成31年3月20日発行
E-mail: kikanashi@aiweb.or.jp

発行 愛知県中小企業団体中央会 〒450-0002
名古屋市中村区名駅4-4-38(愛知県産業労働センター)
☎ 052-485-6811(代) FAX 052-485-9199